

みかんの町

現状・課題

観光客や、有田市民全般を対象とし、鮎茶屋、かわすい、ビッグスマイルパークなどの、みりよくの建物があるが少数しかなくほかの県に魅力を伝えられるものはあまりない。

例えば、有田市だけの特徴のあるものと建物をかけあわせてつくったりして、みりよくのある建物をつくと、ほかの県から観光に来る人がふえ、有田市のいいところを多くの人に知ってもらうことができる。



ホテル全体をみかんでいけると・・・

①どんな建物？→有和中学校のように、かべをみかんでつくったり、ショップでみかんのゼリーを提供したり、みかんのジュースの自販機をおく。また、**中に温泉を作り、みかんのシャンプーをつくったりする。**

②どこで？→使っていない農地を使って、建てる。

③どの人たちを？→有田市全般の人たちや、県外から来た人や、観光客（外国人）に来てもらい有田市の魅力を知ってもらう。

目指せ！和歌山の注目度一位

2組 6班

現状

若者が有田市に残ってくれずに、出て行ってしまおう。
有田市にいる若者の人数は全体の28パーセント

課題

有田市に残ってくれるようにするために、
宿泊施設や新たなカフェなどを作る。



プラス1

ありパー
(ありだパーク)

園内に入れるもの

- おしゃれなカフェ (アサイーなど)
- 映えスポット (イルミネーション、顔はめパネル)
- キッチンカー (冬は暖かいもの、夏は冷たいもの)
- 運動施設 (ボウリング場、カラオケ)
- 子供が遊べる (幼稚園～小学生)
→幼稚園児が遊べる小さめの遊具と小学生以上が遊べる大型遊具 (滑り台、ブランコ、小さな町など)
- 水遊び (あついため、地面から水が出るタイプ、霧のカーテン)



APP

特産物をつかったカフェで 有田市を人気にしよう!!

有田市のいいところ (現状)

- 自然豊か
- 美味しいものがたくさん
- みかんが有名
- おいしいものがたくさん

有田市の課題

- 人口減少
(2000年から2020年の20年間で、
約21.2%人口が減少)
- 少子高齢化(4人に1人が高齢者)
- 観光客があまりいない



有田市の食べ物を使ったカフェを作ろう

中学生が考えたメニューを出す
メニューの例
みかんを使ったパフェ、ケーキ
しらすを使った炊き込みご飯 など



- 有田市の特産物を使うことによって有田市の良さを知らせてもらえる
- 有田市民が育てた食品を使って地産地消

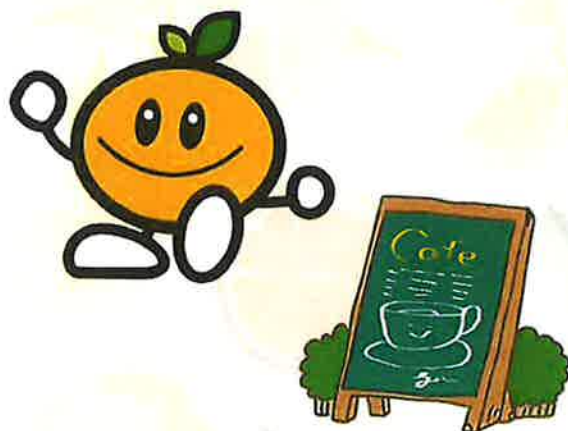
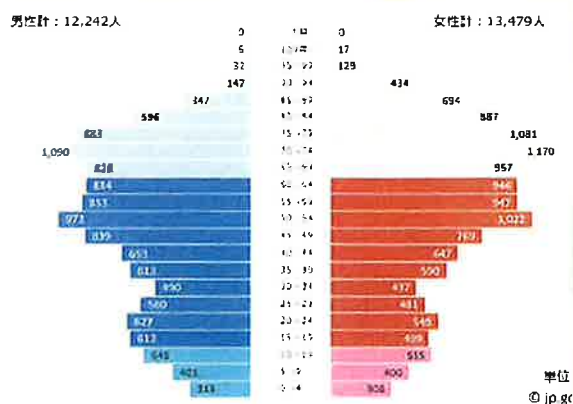
観光客や若い人を中心にしてSNSで広める
地域の人を中心にするによって客数をキープ



Arida Mikan Project

- AMP -

テーマ：みかんを使ったカフェを開く



現在の有田市の人口は24,146人です。そのうち、高齢者は約9230人と約4人に1人が高齢者とされています。また、生産年齢人口は今と比べ、約65%減少と言われており、働き手がシニア中心になります。今後、人口の減少や高齢化、働き手不足が懸念されている有田市で何ができるかわたしたちで考えた結果、日本一の生産量を誇る有田みかんを使って、

地域の人たちに呼びかけ、この企画を手伝ってもらおう！

- ・みかんジュース
- ・冷凍みかん
- ・みかんアイス
- ・みかんゼリー



をつかってSNSで発信し、「有田市に来たい!」「有田市に住みたい!」と思ってもらったり、働き手不足をこのカフェで解消したいと思いました。

2年1組5班